

街の魅力を活かした大阪再編計画

ー民のための副首都 大阪づくりー

「副首都・大阪」連携プロジェクト

リサーチ・プレゼンテーション成果発表会資料

2025年01月19日

追手門学院大学 地域創造学部地域創造学科

藤原直樹ゼミ 「人に選ばれる街、大阪」チーム

小林 舟橋 奥村 工藤 三宅 森本 山野

目次

0 1		中間発表のまとめ	P.0 3
0 2		アンケート調査結果	P.0 7
0 3		フィールドワーク結果	P.1 0
0 4		まちづくりを行う上での課題	P.1 6
0 5		政策提案 住民意見反映について ～私達がめざす大阪の為に～	P.1 8
0 6		まとめ	P.2 6

1 中間発表のまとめ

・副首都の必要性 なぜ副首都が必要か（副首都ビジョンから引用）

01

国際競争力を持つ拠点都市の創出

02

東京一極集中による
災害リスクの減少及び
国土の強靱化

03

大阪を中心として
京阪神の行政と経済の
発展を目指す

・副首都の必要性 副首都・大阪が果たすべき役割

01

「西日本の首都」
（分都）として
中枢性・拠点性を充実

02

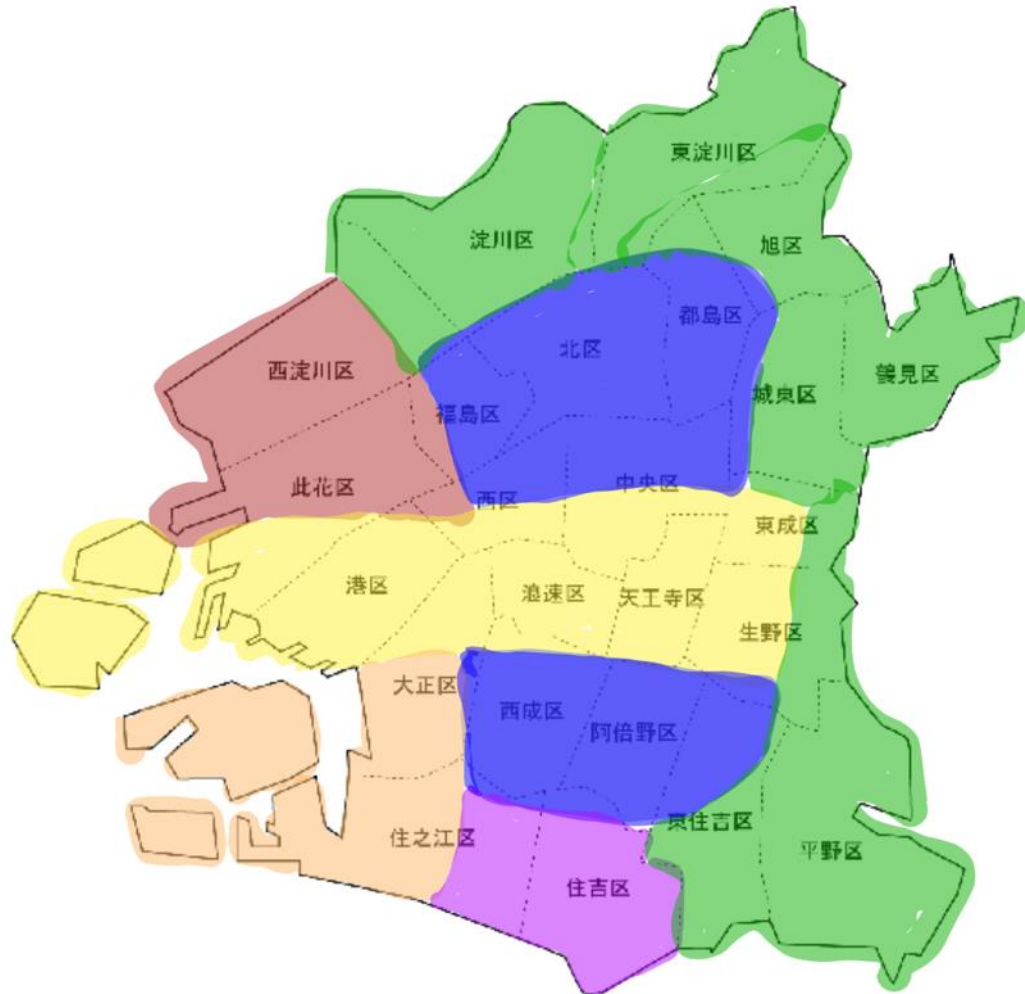
「アジアの主要都市」
として東京と異なる
個性で新たな魅力発信

03

「民都」として民の
力を最大限に生かす
都市を実現

- ・リーサスで人口の推移、日本三大経済圏の人口移動比較などの分析
政策提案を示す

中間発表時の政策提案（新たな区割りで魅力を生み出すまちづくり）



- 一般住宅地域
- 工場地域
- ビジネス地域
- 商業地域
- 学術研究地域
- 貿易・運輸地域

中間発表時にご指摘いただいたことについて

大阪都市計画区域マスタープラン ➡ 課題：現行法との兼ね合いは？

① 国際競争に打ち勝つ強い都市の形成

② 安全・安心で生き生きと暮らせる都市の実現

③ 多様な魅力と風格ある都市の形成



これらを踏まえ、さらにまちづくりの参考にするために
東京へフィールドワーク調査へ

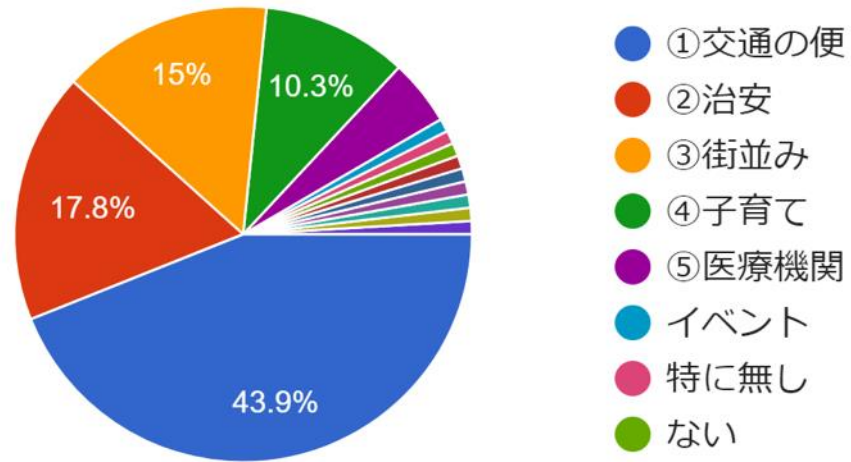
2 アンケート調査結果：副首都計画の実現に向けて

アンケート調査結果①

調査内容：

①現在の居住地に求めるもの（自由記載）

実施期間…2024/09/26～2025/01/08
実施方法…Google formsをSNSで拡散
回答数…160件



市内居住回答者

- 1.治安の改善
- 2.子育て政策の強化
- 3.イベント

市外居住回答者

- 1.交通の便の改善
- 2.治安の改善
- 3.街並みの改善

②大阪をより良い街にするために必要だと思う項目についてのアンケート結果（自由記載）

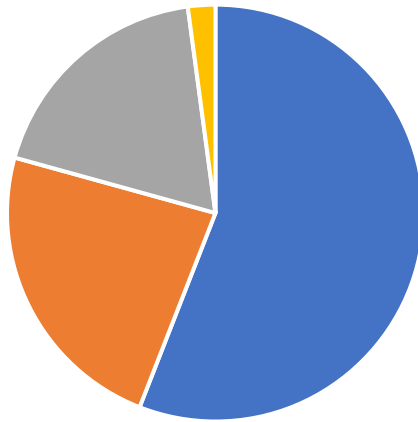
- 1 子育てしやすい環境** **2 いろんな観光地を増やす** **3 治安の改善** **4 外国人訪問者の管理**

- ・住みやすい街にする
- ・恒例行事を作る、再興する
- ・イベントの増加
- ・地域の祭りを大切にする

アンケート調査結果②

①（市内在住者向け質問項）現在の居住区が今後どのように発展してほしいか（有効回答数40件）

市内在住の方向けアンケート



■ 観光の中心 ■ 商業の中心 ■ 教育子育て中心 ■ その他

- 1 **観光中心の地域** (22件)
- 2 商業中心の地域 (8件)
- 3 教育子育て中心の地域 (5件)

②（市内在住者向け質問項）今後の発展を実現するために必要だと思うこと（自由記述）

- ・ **区の一部だけでなく全域に商業施設が増える、観光地を増やす**
- ・ 路上駐輪・駐車規制
- ・ 子育て世帯への支援の充実、公園の充実

3 フィールドワーク結果

フィールドワーク 概要

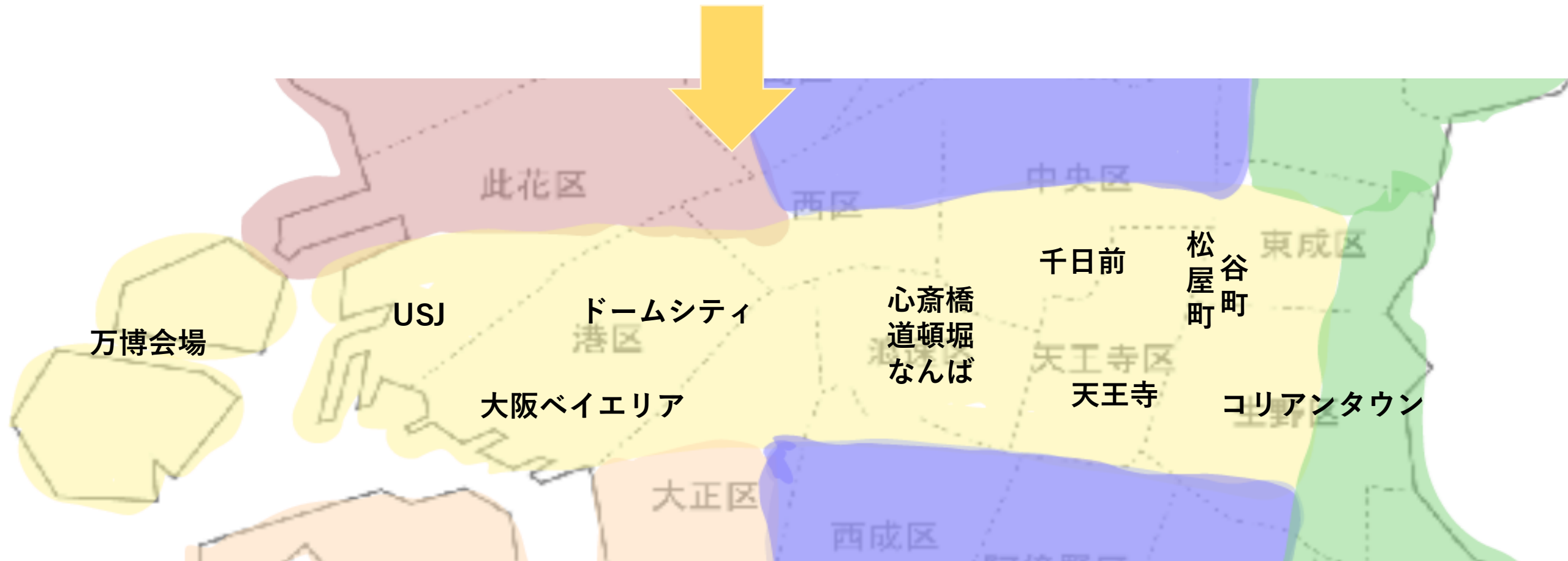
実施日：2024年

11月25日（月）～26日（火）

場所：杉並区役所 都市整備部 管理課
台東区役所 都市計画課
墨田区役所 拠点整備課

フィールドワークの目的①

- ① アンケート調査で大阪市内在住の方からの意見として最も多かった「観光拠点の創出」のため
どの様な開発ができるのか見当を行う



台東区～墨田区間の広域観光拠点



図：台東区都市計画マスタープランより



フィールドワークの目的 ②都市計画のためのポイントを伺う

〔東京街づくりの例〕 都市計画のポイント

	内容
杉並区	子育て世代へ魅力の提供と緑豊かな取り組み→将来的に良好な環境街づくり
台東区	江戸時代から続く伝統と現代のニーズの調和と融合を図る 新しい輝きを生み出す活力ある街づくり&住民が安心して暮らせる街づくり
墨田区	地球環境に配慮し、災害に強く、住民が安心して暮らせる街づくりの中に、 人の流れを生み出し都市文化を楽しむ街づくり

フィールドワークで聞いた「大阪らしさ！！」

ポジティブ	・賑やか、明るい	・人情で商売をしている	・新しいことに挑戦的
ネガティブ	・それぞれの区にこれといったイメージがない	・24区制なのを知らなかった	

これらの良さを活かして、特徴を創り出す必要がある

4 まちづくりを行う上での課題

フィールドワークの目的 ③まちづくりを行う上での課題を知る

<取り組むべき課題>

- ・ **住民の理解を得る**

住民の意思や要望を取り入れながら新しい街づくりを目指す



丁寧な説明と十分な対話

〔住民の意見の反映の例〕

	内容
杉並区	対象となる集団毎に、区長が直接話せる機会を設けて意見を集める。後に審議会で検討し、行政の反映を図る。
台東区	出来る限り住民主体の意見交換会を設けて、条例など諸般の事情が許す限り住民の意見を導入するように調整を図った。特に、「六区ブロードウェイ」では外観について住民の意見が反映され、区としても誇りに思う事業へ。
墨田区	開発の内容に応じて、ワークショップや意見交換会などを設けたり、メンバー固定の「まちづくり検討会」から区長に住民の意見を届けてもらうなど、様々な取り組み方を考えて民意が行政に反映される取り組みを行っている。

5 政策提案 私たちが目指す大阪の為に

住民意見反映についての政策提案

- ① 若者である大学生を対象にした提案
- ② 未来を担う我々よりもさらに若い世代を対象にした提案



【ゴール】

「30年後の大阪」が「副首都」になるには 若い世代の参加が必要

【実現可能性】

自分たちでも参加可能か、わくわくポイントがあるか
という部分を重視して提案、大学生にも可能か。

大学生向けの提案（インセンティブプログラム）①

①学内QRコード

学内に設置されたQRコードを使って、簡単にアンケート(意見収集)に参加できる仕組みを導入する



これらの情報は、SNSでの情報発信を行い、学生が関心を持ちやすい形で参加を促進する



学生が地域課題に関する投稿やシェアを行うことでポイントが貯まり、そのポイントを様々な特典と交換できる仕組みを導入する

導入方法

QRコードを学内の食堂や図書館、教室などあらゆるところに設置



大学生向けの提案（インセンティブプログラム）①

QRコード利用について

費用：(スマートQRによると)

初期費用	→	0円
一か月	→	3,483円
年間	→	38,000円

行政的メリット

- ・年間費、最安値の38,000円でURL稼働設定数が30件、QRコード作成回数は無制限
→ 1か月に1回（年12回）募集してもかかる費用は 38,000円 ぽっきり
- ・府内58数の大学にも設置可能

答えた学生のメリット

- ・答えたことによる特典制度
（インセンティブ） → 学食割引券がもらえる
実際に政策反映されると表彰+賞金 など

デメリット

- ・学生への特典制度にどれだけ費用がかかるかが不透明（参加学生数を絞るか）
- ・学内QR管理を自治体が行う場合、自治体への負担増加の懸念

学生向けの報酬（インセンティブプログラム）②

②大学生まちづくり促進・PR大使制度

大阪府・市の「まちづくり促進・PR大使」を府内各大学から募集し、行政と学生（市民）のパイプ役を大学生の中から選び大学生の発信力を活かした仕組みづくりを行う

仕事内容

①学内のQRコードの管理

- ・ デメリットである「政策やまちに対する意見を出すときのハードルの高さ」を払拭するためのポップづくり、SNS運営
- ・ QRコードが正常に働くかを管理（問題発生時の行政との連絡係）

②学生が開催主体のワークショップの開催

- ・ 行政と協働して開催する
- ・ ワorkshopの内容を市に報告、政策提案として反映できる仕組みづくり
- ・ 府内各大学ごとの学生大使と市の職員との定例会（市役所で開催）

学生向けの報酬（インセンティブプログラム）②

学生への特典

ワークショップに参加した学生：（インセンティブ） → 学食割引券がもらえる
実際に政策反映されると表彰+賞金 など

大学生大使：（インセンティブ） → 有償インターンシップとして参加

導入費用

- ・ 定例会時の学生の交通費負担（学校定期圏外の学生に対して）
- ・ 大学生大使へのインターンシップ費（学内アルバイト制度：スチューデントジョブ制度を活用してもよい）

資金調達方法：大阪市民が納める固定資産税や住民税を活用する
特定地域の開発や施設のスポンサーシップ契約を通じて、民間投資を誘致する

行政のメリット

- ・ 行政が学校に出向き、会場準備から集計などのすべてを行う負担が軽減される。
- ・ 若者（学生）との意見交流のパイプが整う



学生の意見を「0から1」に生み出す政策提案になるのでは???

教育 × 政策 教育基盤の構築のための政策提案

地域の教育と意識改革の強化

目的：若者の街づくりに対する意識を高めるため

内容：義務教育課程（小学校～高校）において地域課題を学び、解決策を考えるカリキュラムの導入

方法：地域課題を可視化～政策提案・意見提出までを体験する

地域のゴミ問題や交通渋滞、治安などの身近な課題をテーマにした探求授業を実施

→ グループディスカッションを通じて解決策を考える

→ 学生の意見を地域の政策決定に反映させるために政策提案までを行う

主導：地域の自治体（まちづくり担当課） と 教育委員会

→ 行政的方法のための指導とカリキュラム課程の調整

地域の自治会メンバー

→ 地域の問題定義を一緒に考える

大学生まちづくり推進・PR大使

→ ワークショップ運営のサポート


教育 × 政策 教育基盤の構築のための政策提案

実現可能性

日本 東京都と新潟 → 中学・高校生が授業の一環で行政主導の政策提案参画プロジェクトに参加

海外 ドイツ → 現実的な事象を取り扱う
問題解決の手段として、「市役所への連絡方法」「メディアへの連絡方法」
「デモの手順」など投票以外も含めた、政治参加の具体的な方法を学ぶ教育課程がある

効果 日常から地域のことを考え生活することが基本 → 地域の一員としての役割を担うことができる



【ゴール】

政策について身近に捉え、日常の会話の中でも当たり前トピックとして出てくるような状況を作る



現在、行政が取り組む若者世代の政治的関心・参加率の向上につながるのではないか

今後、「人に選ばれる町、大阪」を通して「副首都 大阪」を目指すためには

大阪の魅力を細かく分析し、大阪市（新たな区割り）で大きな制度として開発を行い、大阪府の一体化を目指す



そのためには、地域に寄り添うことが重要で、地域に住む方の声を実際に聞いて共感性を大切に進めていく必要がある



若者の意見を集めるには、大学生が中核を担う必要があり、今後の若者の政治的関心を高めるには教育課程の中に政策提案を経験し、さまざまな視野で考えられる人材が欠かせない

参考文献

- ・ 杉並区(2024) 「杉並区まちづくり基本方針杉並区都市計画マスタープラン」
https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/013/515/matidukuri_kihonhousin_r05.pdf (2024年9月25日閲覧)
- ・ 台東区(2024) 「台東区都市マスタープラン」
https://www.city.taito.lg.jp/kenchiku/toshikeikaku/keikaku/toshikeikaku/urban_masterplan.files/toshimasu_gaiyou.pdf
(2024年9月25日閲覧)
- ・ 台東区(2024) 「浅草六区デザインガイドライン」
<https://www.city.taito.lg.jp/kenchiku/toshikeikaku/keikaku/chikukeikaku/asakusarokku.files/asakusa-design-guideline.pdf> (2024年9月28日閲覧)
- ・ 墨田区(2024) 「押上・とうきょうスカイツリー駅周辺地区地区計画」
https://www.city.sumida.lg.jp/matizukuri/matizukuri_suisin/zigyoubetu/oshi_nari_keikaku/oshiagechikukeikaku.html (2024年9月25日閲覧)
- ・ 墨田区(2024) 「押上・とうきょうスカイツリー駅周辺地区 地区計画 届出の手引き」
<oshiagechikukeikakutebiki202210.pdf> (2024年9月28日閲覧)
- ・ HARUMARITOKYO (2024) 「浅草からスカイツリーへ。あえて歩いて行くのが楽しくなる「東京ミズマチ」」
<https://harumari.tokyo/48370/> (2024年10月5日閲覧)
- ・ Yahoo!ニュース(2021) 「主権者として子どもが政策立案過程に参画する欧州の取り組み(子ども議会、子ども・青少年フォーラム)」
<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/9bfa83140ec9ecf28c3ea809944bb68e94e788cd>(2025年1月8日)
- ・ 大阪府(2024) 「令和5年度(確報) 報告書大阪の学校統計」
https://www.pref.osaka.lg.jp/o040090/toukei/gakkou_k/gk23k000.html (2025年1月3日閲覧)
- ・ スマートQR(2024) 「お手頃な価格」
<https://qr.folio.co.jp/price.php> (2025年1月6日閲覧)
- ・ 東京都(2024) 「中高生 政策決定参画プロジェクト」参加メンバー募集」
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/04/12/09.html> (2025年1月10日閲覧)
- ・ 新潟市(2022) 「市内中学・高校生政提案提
<https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/seisaku/sogo/jikisogokeikaku/shiminsanka/seisakuteian.html>
(2025年1月10日閲覧)